

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

停 電 騒 動

岡 藤 龍 正

((医)岡藤会 岡藤クリニック 院長)

それは、ある冬の寒い朝の事でした。たまたま前日からクリニックに泊まっていた私は珍しく早起きして、溜め込んでいた書類と格闘していました。突然部屋の電灯が消えました。念のため別の部屋でもスイッチを押してみますが、どこも点きません。「まあ、すぐに復旧するだろう。」との淡い期待も空しく、数分経っても電気は点きません。どうやら本格的な停電のようです。仕方なく心当たりの場所を探してみますが、懐中電灯が見つかりません。我ながら準備の悪い事だと舌打ちしてみても後の祭りです。エアコンの切れた部屋はすぐに冷え込んできましたので、とにかく厚着をして事態の進展を待つ事にしました。廊下や各部屋の天井にある非常灯の小さな灯りが、何とも心強く感じます。

しばらくすると表の方から、何台もの消防車やパトカーのサイレンの音が聞こえてきました。大勢の人達が何か叫んでいるようです。「これはただ事ではないな。」日頃呑気な私もようやく重い腰を上げて表の様子を見ようかと立ち上がった処で、私は初めて重大な事に気がつきました。停電しては玄関も駐車場もシャッターが開きません。私がクリニックから出られないだけでなく、患者様はおろか出勤して来る職員達もクリニックへ入れな

いという事に。途方に暮れていた時、裏の方で大家さんの声が聞こえました。急いで通用口を開けます。「先生、この辺り一帯が停電しているみたいです。」シャッターが開かない事を話し、クリニックの隣の大家さんの事務所から職員をいらせて頂くようお願いして、その旨を職員にメールしました。

停電から一時間程経過すると心強かった非常灯が次々と消え始め、クリニックに闇が広がります。窓のない廊下や検査室は真っ暗になってしまいました。寒さも余計に厳しくなったような気がします。何もできない自分の無力さに辟易としながらも他にする事もないので寒さ凌ぎにラジオ体操をしながら復旧を待つ事にしました。停電から二時間、職員が次々と出勤して来てくれました。携帯電話のモニターの明かりを頼りに私が見つけれなかった懐中電灯を探し、患者様に暖をとるために使って頂く膝かけや厚手のバスタオルを待合室に用意してくれます。大家さんが汗だくになりながら玄関のシャッターを手動で開けて下さったのは診療開始時間の10分前、外には既に数人の患者様が待っておられました。



た。

初めて外に出て周囲を見回すと、何人もの警察官や消防士の方達が忙しげに行き来し、消防車、救急車、パトカー、関西電力の車輛等が何台も集まっています。復旧には今少し時間がかかりそうです。患者様に真っ暗な廊下を通して診察室まで来て頂くのは諦め、外からの明かりが辛うじて入る待合室と点滴室で今日の診察を行う事にしました。レセコンが使えませんので、なるべく事務員が計算しやすい診療内容となるように心がけ、懐中電灯の元で調剤をします。暗がりの中での注射針の使用は危険ですので、血液検査や点滴は最低限に止め、断水の恐れがありますので尿検査は行わない事にしました。幸運にも患者様にそれほどご迷惑をおかけすることなく診療は進み、慌ただしく時間は過ぎてゆきました。ようやく電気が復旧したのは午前診の時間が終わる頃、結局6時間程度の停電でした。今回の停電はクリニック近くの電柱にトラックが衝突した事が原因でした。電柱から変圧器が落ちてショートして火災がおき、電柱横のポストは真っ黒焦げになっていました。

今回巻頭言への依頼を頂戴して数年前の停電事故を思い返してみた時に、不幸中の幸いと言えたのは停電した時刻にたまたま私がクリニック内に居たことだと思い当たりました。通用口を内側から開けられなければ、院内に誰も入る事ができなかったのだと思うと今さらながら背筋が寒くなりました。またこの日は偶然にも検診の予約が入っておらず、心電図やX線検査を行わなくて良かった事も幸いでした。そして地震、津波、落雷等、様々な天災の発生が現実になろうとしている時に、僅か6時間程度の停電で右往左往していた自分が滑稽にも思えてきました。津波が道頓堀川を逆流させれば、川から数mに立地する当院はあっという間に浸水してしまう事でしょう。クリニックの防災力を高めるための方策を、職員達とミーティングの時間に話し合ってみたいと思っています。

理事会報告



◎平成24年度8月定例理事会

日 時 平成24年8月25日〈土〉

午後5時～6時

場 所 ホテル日航大阪 31階「ローズ」

協議事項

1. 医師とケアマネージャーの連絡会の開催日程について <橋村理事>
例年のとおり、標記連絡会を開催し、その日程を決めたい。

協議の結果、次のように決定。

日時 11月10日〈土〉15時

場所 浪速区社会福祉協議会

2. 「未来医療を考える会」(10月20日〈土〉)について <久保田理事>
開催にあたり、趣意書を作成し、経費の負担が少なくなるよう製薬会社等に寄附の協力をお願いしている。寄附が集まれば、経費の負担が少なくなるので開催の了承をお願いしたい。

協議の結果、開催、経費について了承。

3. 職員退職金について <木田理事>
職員の退職に伴い、退職金を支給したい。

協議の結果、了承。

4. レクリエーション(10月21日〈日〉)の内容について <岡藤理事>
開催場所等を資料のとおりとしたい。

協議の結果、了承。内容は次のとおり。

場所 セントグレース ヴィラ

大阪市西区新町1-1-18

時間 午後6時30分

なお、パフォーマーによるジャグリングショーを予定している。

5. その他
なし。

報告事項

1. 事務局人事について <佐久間会長>
8月20日(月)をもって河野職員が退職することとなった。

2. 第297回府医臨時代議員会について
(8月23日(木)) <佐久間会長>
議事等は次のとおり。

▷ 議事

第1号議案 平成23年度大阪府医師会
一般会計予算の補正に関し承認を
求める件

第2号議案 平成23年度大阪府医師会
看護専門学校特別会計予算の補正に
関し承認を求める件

第3号議案 平成23年度大阪府医師会
保健医療センター(予防接種セン
ターを含む)特別会計予算の補正に
関し承認を求める件

第4号議案 平成23年度大阪府医師会
一般会計決算に関し承認を求める
件

第5号議案 平成23年度大阪府医師会
看護専門学校特別会計決算に関し
承認を求める件

第6号議案 平成23年度大阪府医師会
保健医療センター(予防接種セン
ターを含む)特別会計決算に関し
承認を求める件

第7号議案 平成23年度大阪府救急
医療情報センター特別会計決算に
関し承認を求める件

第8号議案 平成23年度大阪府医師会
共済事業特別会計決算に関し承認
を求める件

第9号議案 平成23年度大阪府医師会
休業補償事業特別会計決算に関し
承認を求める件

を求める件

第7号議案 平成24年度大阪府医師会
予算の組替え(16年基準から20年基準
へ移行)に関し承認を求める件

▷ 協議

(1) 当面の医療問題について

以上、提案どおり可決決定、協議につ
いては了承された。

(詳細 略)

3. 第2回60周年記念行事検討委員会につ
いて

(8月25日(土)) <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷ 60周年記念誌の発行について

▷ 60周年記念式典の内容(出席人数・開
催場所)について

4. 第34回病診連携委員会について

<久保田理事>

次第は次のとおり。

▷ 第33回病診連携委員会報告について

▷ ブルーカード事例検討等連携病院から
の報告について

▷ 病診連携委員会のアンケート結果につ
いて

▷ 大阪市立大学医学部附属病院の救急医
療の現状について

▷ 各地区医師会の在宅医療について

▷ 地域間の医療連携について

▷ その他

(詳細 略)

5. その他
なし。

次回会議 平成24年9月14日(金)午後2時～



『未来医療を考える会』開催のご案内

さて、このほど、本会では標記会を開催することといたしました。

本会で取り組んでおりますブルーカードシステムや、医療連携にご尽力された先生方を招聘し、ご講演いただく予定をしております。ご参加希望の方は、本会からFAXしております参加案内にご記入の上、お申込みください。締切10月12日〈金〉。

開催内容

日時 平成24年10月20日〈土〉 午後5時
場所 スイスホテル南海大阪7F 芙蓉

プログラム

開会のあいさつ 浪速医師会 会長 佐久間 靖博

第1部 座長 浪速区医師会 副会長 有田 繁広

1 今後のIT医療の為の知識

株式会社NTTデータ ライフサポート
事業本部 ヘルスケア事業部
ソリューション統括部

医療情報ネットワーク担当 石黒 満久

2 ブルーカード & iProject

浪速区医師会 在宅医療担当理事
久保田泰弘
株式会社管理工学研究所 村林 弘之

第2部 座長 大阪市立大学医学部付属病院
朴 勤植

3 99さがネット(佐賀県救急システム)について

佐賀大学 救急救命センター長
阪本雄一郎
佐賀県 健康福祉本部 医務課
円城寺雄介

閉会のあいさつ 浪速区医師会 副会長 有田 繁広



浪速区医師会レクリエーションのご案内

さて、このたび恒例のレクリエーションを下記のとおり開催することといたしました。

今回は、リゾートホテルのような会場でのお食事会です。また、アトラクションとして、マルチコメディーパフォーマー TASUKUさんによる、抱腹絶倒のジャグリングショーもご用意しております。ご家族お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

日時：平成24年10月21日〈日〉 午後6時30分
場所：セントグレース ヴィラ

参加ご希望の方は、本会からFAXしております参加案内にご記入の上、お申込みください。締切10月12日〈金〉。



10月度学術講演会のお知らせ

10月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：10月27日〈土〉午後2時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「あなたの10年後？」

— 降圧の重要性 —

講師：元川崎医科大学

腎臓・高血圧内科 准教授

富田内科医院

院長 富田 奈留也 先生

浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年10月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三 歳 児 健 診

●保健福祉センター

10月25日〈木〉午後1時40分～3時30分

眼 科 山尾 信吾

耳鼻科 中村 泰久

B C G 接 種

●保健福祉センター

10月18日〈木〉午後2時～3時30分

池田 良彦・北村 栄作

急病診療所出務

●今里急病診療所

10月7日〈日〉10:00～17:00

岡藤 龍正・有田 繁広

産業医健康相談窓口

●浪速区医師会 午後2時～4時

10月2日〈火〉 菊井 祥二

10月19日〈金〉 北村 栄作

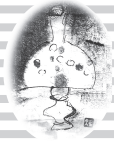
浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。多数のみなさま方の参加をお待ちしております。（ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。）

囲 碁 部 毎月第1・3・5（土）

（川田信） pm 5:00～





あとがき

Y.M.

今月号の巻頭言「停電騒動」を大変興味深く拝読させてもらった。たった6時間程度の停電がもたらしたパニックは、到底笑い事ではすまされない深刻な問題を提起している。日頃電気の有り難さなど全く意識せずに、まるで空気と同様、当たり前のように使っていることに改めて気づかされた。

阪神大震災の時には、もし同様の激甚災害で停電した場合、病院はどう対応するかについてかなり議論したし、自家発電の容量もあの時に増量したと記憶している。とくに当院には保育器が止まれば生きて行けない未熟児がいつも多数入院しているし、人工呼吸器で生命を維持している患者もいる。現代医療のほとんどは電気の恩恵なしには成り立たないことは明白である。しかし喉元過ぎれば…の喩えの通り、日頃真剣に停電した場合のことも考えたこともなかった。

我が家も25年前に新築した時に雨戸の開閉を全て電動にしたし、ガレージの扉も電動にした。実際ボタンを押しさえすれば事足りるというその便利さに慣れてしまうと、停電したら車も出せなくなることなど気にも留めていなかった。しかし本年関電が夏期の電力の供給不足に対応するため、「計画停電」の実施をほのめかしてから、電力にばかり頼っている日常生活が不安になった。

現実には今夏の連日の猛暑にも拘らず、電力需要が供給の90%を超えた日はほとんどなかった。関電の脅しはかなり効果を発揮して、各家庭で相当な節電の努力をした成果か、それとも世間の猛反発にも拘らず原発を再稼働させたからなのか、いずれにせよ停電を経験しなくて済んでほっとしている。

しかし、あとがき子としては、停電は勿論御免蒙りたいが、自然災害の多いわが国でこ

れ以上原発に頼ることは危険であり、徐々にでも他の発電方法に切り替えて、将来は原発ゼロを目指すべきであろうと思っている。

もしどうしてもそれが不可能であれば、せめてM9程度の直下型大地震にも、20mを超える大津波にも耐えられるよう、そして一切「想定外」などと云わせないように、根本的な施設の改造を行なうべきである。政府が再稼働を容認する限り、大部分の国民が納得できる方法で、強制的にでも既存施設は再構築させるべきであると思う。



目次

巻頭言

目次	ページ
停電騒動	岡藤 龍正 1
理事会報告（8月開催）	2
「未来医療を考える会」開催のご案内	4
浪速区レクリエーションのご案内	4
10月学術講演会のお知らせ	5
浪速区医師会活動の伝言板	5
あとがき	6

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サ ビ